

Rotary International District 2830 Governor's Monthly Letter

2021-2022

ガバナー月信 6月号

ウクライナ人道危機救援募金 ご協力ありがとうございました!



Rotary
District 2830



国際ロータリー
第2830地区ガバナー 成田 秀治









国際ロータリー第2830地区（青森県）が3月22日から4月末まで行いましたウクライナ人道危機に対する救援募金にたくさんの方々のご協力を賜りましてありがとうございました。お陰様で各地のロータリークラブによる街頭募金、企業の職域募金等で530万円余が県内からお寄せいただきました。これらは4月末にロータリー財団に送られ、国連難民高等弁務官事務所等を通じてウクライナからの難民の救援に使わせていただきます。改めてご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

お問い合わせ先 国際ロータリー 第2830地区 〒030-0812 青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森2F TEL:017-732-2830 / FAX:017-732-2831

2022年5月13日
東奥日報掲載広告

目 次

- ガバナーメッセージ
- ハイライトよねやま
- ガバナーエレクトご挨拶
- 財団室 NEWS
- ガバナー補佐ご挨拶
- 会員動向
- ウクライナ支援活動
- 出席率表
- ボランティア活動報告
- 地区行事予定 6月・7月
- コーディネーターNEWS

Let's Enjoy Rotary Life「ロータリーライフを楽しもう」

国際ロータリー第2830地区ガバナー 成田秀治

国際ロータリー第2830地区事務所



ガバナーメッセージ

Let's Enjoy Rotary Life
「ロータリーライフを楽しもう」

国際ロータリー第2830地区

2021-22 年度ガバナー **成田 秀治**

一年間に感謝を込めて

第2830地区の皆様、日々、ロータリー活動にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。早いものでガバナー任期も、あと1ヶ月です。

6月が最後の「ガバナー月信」となります。今年度のRIテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」そして、地区スローガンを「ロータリーライフを楽しもう」とさせて頂き、地区目標を9つ掲げスタートしました。

2月1日～11日まで、史上初のオンラインによる国際協議会。3月14日には、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から地区チーム研修セミナー(DTTS)と会長エレクト研修セミナー(PETS)を同日開催とし、従来の対面式を中止し、最少人数での会場参加者とZoomを併用したハイブリッド式で開催しました。未だ、新型コロナウイルス感染拡大が収束しない中、5月22日の地区研修・協議会(DTA)もハイブリッド式での開催でした。そして、10月16日～17日の地区大会も同様の理由によりハイブリッド式での開催。奉仕活動として、ロータリー奉仕デー、世界ポリオデーや各イベントなどにご協力を賜り誠にありがとうございました。また、7月13日の八戸北RCを皮切りに40クラブ全て、対面式で公式訪問させて頂き、多くのことを学びました。誠にありがとうございました。

最後にひとつひとつの事業を進めるにあたり、パストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長・委員、各クラブ会長・幹事・クラブ会員、そして、なにより地区幹事・五所川原イヴニングクラブの皆様方の温かいご支援とご協力により、1年を歩ませて頂いたことは、大きな財産になりました。私の人生にとって身に余る物を頂いたように感じております。皆様から頂いた奉仕の心に感謝を申し上げ1年間の御礼に代えさせて頂きます。

6月は「親睦活動月間」

6月はロータリー親睦活動月間です。世界のロータリアンが世界中で親睦活動を推奨し、奉仕活動を行っています。

ロータリーの二本柱とは「親睦と奉仕」であり、ロータリー活動の原点だと思えます。新しいロータリー年度が始まって、各クラブの新会長の挨拶にも必ずと言ってよいほど「親睦と奉仕」という言葉が述べられていると思えます。親睦と奉仕がロータリーライフを支える二本の大きな柱であり、親睦が失われればクラブは崩壊するだろうし、奉仕がロータリー活動の大きな目的であることは間違いありません。

親睦とは、ロータリークラブがクラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件です。ロータリアンひとりひとりの心を結び付ける必要不可欠なものです。親睦を深める最適な場所は例会です。例会において、いかに友情を深めるかを考え実行することと、いかにして真の親睦が保たれるような環境整備することが、最大の任務だと思えます。

ほとんどのクラブでは、新入会員は親睦活動委員会に配属されます。これは新人だから下働きに使うということではなく、親睦活動委員として、会員相互の親睦を深める活動に従事することによって、一日でも早く古い会員と融和を図ることを期待しているからです。ロータリアンがお互い切磋琢磨し自己改善に努めることで、ロータリーの親睦が一層深まり、奉仕の心が高まっていくのだと思えます。

SERVE TO CHANGE LIVES



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために



ガバナーエレクトとしての
一年間を振り返り思う事

2021-22年度ガバナーエレクト
田 中 常 浩

昨年7月1日よりガバナーエレクトとして活動する中、新型コロナウイルスの影響で同期のエレクトと対面で合えるガバナー会も中止に、同期のエレクトとは今までZoomにて月一で情報交換していましたが、初めて対面で会えたのが、9月に実施されたGETSでした。その時はまだ国際協議会は実施予定でしたが、12月に入りオミクロン株が蔓延し始める中で実施されたロータリー研究会、対面で2回目の会合、そこで話題になったのが国際協議会に参加するかどうか。結果はオンラインでの参加、帰国からの待機問題が一番に挙げられました。その後Zoom参加なのに、国際協議会出席壮行会をして頂き有難う御座いました。

今年に入り1月20日、RI会長エレクトのテーマ「IMAGINE ROTARY」が発表になりました。同時にエレクトが学ぶ研修のビデオも事前に見る事が出来本番に備えました。2月7日から2月15日までオンライン(Zoom)でしたが、国際協議会は実りある研修でした。その後3月5日に諮問委員会で国際協議会の報告を経て、地区チーム研修セミナー(DTTS)で地区役員の方々にRI会長エレクトのテーマ、私の地区スローガンと地区目標をビデオを交えながらお話しさせて頂きました。但し全員が対面で無くZoom参加も少人数ありました。参加者の殆どが参加して頂き久々の懇親会、大変盛り上がりしました。

3月19日むつ市で開催の会長エレクト研修セミナー(PETS)、コロナウイルスが中々終息しない、皆さんが心配している中での開催、どの位の参加者があるか心配でしたが、実施して本当によかったと思っています。今回は私が国際協議会で学んだことを短縮させて頂き、RLI方式で実施致しました。山崎PG・源新PG・米谷委員長には大変お世話になりました。今までは聞くだけの会長エレクト研修セミナーでしたが、参加者皆さんに発言して頂き身になったPETSだったと思っています。

5月14日最後の研修(DTA)地区研修・協議会、参加予定人数の6割位の対面参加者、今後はこの様な形で、ハイブリット会議が実施されるのかなと思っています。対面者を多くするためには、一刻も早く治療薬の開発が望まれます。(DTTS)(PETS)(DTA)も終わり私自身安堵しております。これも、次期幹事長・各研修の実行委員長・お手伝い頂いた皆様方のお陰です。7月1日まで少しの時間がありますので、地区のため何が出来るか考えながら、会員増強・公共イメージ向上・ポリオプラス・環境問題等々取り組まなければならないと思っています。

そして、一番大事な7月1日からの公式訪問、基本は一人一人のロータリアン、各クラブであります。自分なりに考えながら訪問したいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

— ガバナー補佐ご挨拶 —



一年間を振り返っての活動報告

東第1グループ ガバナー補佐
岡山 信 広 (六ヶ所RC)

2020-21年度(前年度)にガバナー補佐を拝命し、最初に私がしたことは前年度中に東第1グループのクラブをすべてメイキャップで訪問させて頂きました。その際に、訪問した全てのクラブの皆様から大歓迎を受けたことが大変うれしく感動し、「ロータリーの友情」を肌で感じました。その後の2021-22年度(当年度)においてはガバナー公式訪問の直前訪問、公式訪問への随行、公式訪問後の単独での訪問、インターシティーミーティング(IM)開催のご案内と、当年度は4回訪問させて頂きました。

IMは参加人数を制限しての開催となりましたが、成田ガバナー、沼田パストガバナー、田中エレクト、築館ノミニーをゲストにお迎えし、合同例会、沼田パストガバナーによる特別講演、感染予防対策した上での懇親会をプログラムに、六ヶ所RC有志で結成したIM実行委員会の皆さんの協力の下で実現することが出来ました。

私のロータリー経験は、前年度においてはロータリー歴11年間、クラブ幹事を2年間、クラブ会長を1年間で、国際ロータリー第2830地区(以下、地区)での委員の経験もありませんでした。

その様な私がガバナー補佐という職位を頂いた事のおかげでロータリーについて特等席でたくさんの事を学ぶ機会を頂戴した。その上、東第1グループのロータリアンや同期のガバナー補佐、歴代のパストガバナーや田中エレクト、築館ノミニー、成田ガバナーを筆頭に地区幹事長と地区幹事、地区事務所の本当に多くの皆様からご厚遇と貴重な経験を頂戴し、さらに新たな友情を育ませて頂きました事に対して、深く感謝して1年間を振り返っての活動報告とさせて頂きます。本当にありがとうございました。



一年を振り返って

東第2グループ ガバナー補佐
小比類巻 雅祥（三沢 RC）

ガバナー補佐を仰せ付かって一年、やはり新型コロナウイルス感染のことを思い悩み、振り回される結果となりました。一番悔しかったことは、IMを開催できなかったことです。当初、2月に計画しましたが、感染状況が高い数値を継続したため、延期を決定。5月開催を目指して翻弄しましたが、様々な要因が重なり、中止を決定せざるを得ませんでした。

補佐就任の7月には、第2グループ・6クラブを挨拶に回りました。皆様に温かく迎えて頂き、感謝しております。8月には、今年度、初めて開催のロータリー奉仕デーの開催説明に回り、また、ガバナー公式訪問随行を9月にかけて行いました。この頃には、各クラブとも親しくなり、クラブ運営や行事等について私の方が勉強させて頂きました。

年が明けて1月には、新年の挨拶とIM参加のお願いに回りました。皆様からは、参加協力と激励を受け、非常に心強く感じ、開催に向け決意を新たにしていました。しかし、2月当初の感染者数の状況では、開催の決定には踏み切れず、延期を決定、通知しました。ゴールデンウィーク明けの5月を過ぎても感染者数の改善は見られず、三沢クラブの理事会でも協議を重ねましたが、残念ながら、中止とさせて頂きました。クラブ訪問も、奉仕デーも、地区大会も、IMも、とにかく、コロナに左右され、思い悩んだ一年でした。



一年間の活動を振り返って

西第1グループ ガバナー補佐
今 淳 一 (つがる RC)

今年度も、コロナに始まりコロナで終わった年度になりました。IMも中止になりクラブの様々な行事も延期や中止となりました。ただ公式訪問だけは何とか回る事ができ安心できました。公式訪問して感じたのは、どのクラブも創意工夫をしながらの年度だったと思います。補佐として至らぬところが多々あったと思いますが、コミュニケーションの大切さやチームワークの大切さを勉強させていただきました。

西第1グループの全てに会員に感謝いたします。



西第2グループ ガバナー補佐
工 藤 昭 義 (板柳 RC)

今年度も昨年と同様にコロナ渦の真ただ中という感じでした。各クラブの活動も昨年以上に行事が中止、延期が続き、補佐としての活動も制約があり任務を果たせない一年でした。それでも各クラブが創意工夫をしながら活動していたことに強く感銘を受けました。Zoomを使ったネットを通しての地区大会、協議会など、活動環境が大きく変わり戸惑うことばかりでしたが、新しい物事に大変勉強にもなりました。特に、IM、8クラブ合同例会を6月まで延ばしてもコロナ渦に流されてしまったのはとても残念で心残りであります。

しかし、このような経験を生かしてこれからもロータリーの会員として頑張りたいと思います。一年間支えてくださりました地区会員の皆様に感謝いたします。成田秀治ガバナー、ありがとうございました。



中グループ ガバナー補佐
蒔 苗 亜希子 (青森北東 RC)

ガバナー補佐という身に合わない大役を仰せつかりまして恐縮するばかりの一年でしたが、中々見る機会の無い立場での学ぶ機会を頂きまして誠にありがとうございました。

公式訪問の際には、各クラブの自主性や特色がとても興味深いものでした。会長幹事面談ですが、昔は本年度と次年度の両会長幹事との面談だったと伺った事があります。これは中グループですと今は青森ロータリークラブのみのようなのですが、クラブの方針の連続性や企画立案のタイミングを考えますと、特に会長幹事未経験者がその任に当たるについてはその方が理に適うと感じました。

また、2830地区の皆様が、本当に色々な奉仕活動をしているお話を伺うことが出来ました。コロナ禍のこういう時だからこそ、奉仕活動については日頃の活動をどの様にしているかが、活動の機会を制限される中でも一際生きていたのではないかと思います。

たとえば青森北東 RC では毎年清掃活動をしていましたから、その活動はコロナ禍で一時中断していましたが、成田ガバナーより海岸清掃の呼びかけがあった際にはスムーズに活動できたかと思いましたが、青森モーニング RC と合流した際も比較的スムーズだったのではないかと思います。また青森 RC がウクライナの為の募金活動を行った際にも、毎年ポリオデーでの募金活動のベースがあったからこそ、その毎年の積み重ねがいざ何かやろうというときに生きていたのではないのでしょうか。

他グループがどういう活動をしているかも、もっと詳細に分かる機会があれば、今後の色々な活動のヒントや参考になるのではと思いました。

IM等の活動もままならない中でしたが、人との交流や情報交換においては日頃のロータリアンの繋がりや信用は大事なものであったのではないかと思います。この機会を頂いた成田ガバナーに感謝すると共に、田中ガバナーエレクトの次年度の益々のご発展を祈念いたします。



南グループ ガバナー補佐
岩岡 隆雄 (八戸東RC)

2021年7月より、南グループの9クラブを担当させて頂きました。例会訪問は4回以上を目指しておりましたが、前半はコロナ禍の例会中止や時短での開催もあり、地区方針と地区事業の開催、特にロータリー奉仕デーの開催は南グループの場合座礁船による海難事故で海岸清掃を諦める事となり残念な結果となりました。

年次大会はコロナ感染の心配を考慮して南グループ各クラブの参加は限られた方になったと感じます。次年度は実りある成果を称える大会に期待するところです。

クラブ訪問は年度開始にご挨拶に訪問しましたが、各クラブの会長も緊張されていたと想いますし、私自身がどの様に関わっていけば良いか考えながらの訪問だったと想います。

初回訪問は成田ガバナーの方針説明を役割と考えて参りました。ガバナー公式訪問では、成田ガバナー・地区幹事長と一緒に出席させて頂きました。ここではクラブ協議会のあり方を感じ、ガバナーに伝えたいクラブ、ガバナーから指導を仰ぐクラブや様々な進め方もクラブの独自性と感じました。

クラブの訪問を振り返って感じる事は、ロータリアンとして一職業人としての地域に必要な存在であると言う事です。それぞれが独自の奉仕哲学を発揮している事です。それは、企業の社員を大切に考えている事、事業の継続発展に自信をもって発言している経営者に会った時は良い出会いが出来たと思いました。そして、例会では会長要件が大切な要素である事、リーダーシップを強く感じる事が出来ました。

例会前に十分な準備をして点鐘をされている会長と出会うと、自身の会長時と重ね恥ずかしさを感じるほどでした。リーダーシップを感じるのはそれぞれのクラブでロータリーについて自分の思いを伝えようとしている姿であるように感じました。

クラブにとって会長要件はいかに重要なものかに気づかされました。例会の使い方も様々でした。ホームクラブで慣れているとすべてがクラブの独自性であることに気づかされます。ロータリークラブの一時間はどの様な性質を持っているか、会員は例会にどの様な気持ちで参加されているか、これも深く観察してみたいと感じるところです。

例会開始前にどんな様子で運営をしようとしているかも、興味深いところでした。会場に集う会員が一時間を充実した例会に仕上げるために、幹事や理事役員の労も感じるところであります。これも独自性でしょうか。

会長と幹事の役割や会場監督の立場もそれぞれのクラブで工夫されており例会を効果的な運営をされており、伝統の中で先輩ロータリアンからの継承を感じます。

他クラブの会長エレクトがメイクアップされたときの事です、ホームクラブに参考となる事を発見し会長年度で実践された事を思い出します。ロータリーはクラブが基本ですのでクラブ会員が団結して行動出来る組織であれば強いと深く感じた一年でした。

クラブ訪問を通じ各クラブの会長・幹事の皆さんが充実した一年であってほしいと願っております。

私も、これからもロータリーの一員として自分の出来る事でクラブの発展に寄与して参りたいと想います。心残りは同期のAGとの交流が少ない一年ではありましたが今後も良いお付き合いが出来たらと感じております。

最後に自分の力不足を感じながら一年間の感謝とお礼を申し上げます。皆さん有り難うございました。

「ウクライナ人道危機救援募金」についてご報告いたします

ガバナー 成田 秀治

地区内の皆さまからのご支援、また、3月から4月に地区内にて各 RC による街頭募金、企業の職域募金等でお寄せいただきました下記ご支援金に国際奉仕委員会と平和資金予備費から充当し、4月末にロータリー財団に日本円で 600 万円を送金いたしました。

各クラブの皆さまには深く感謝申し上げますとともに、一日も早く平和な世界に戻る日が来ることを祈念申し上げます。

街頭募金 企業の職域募金 地区内 40 クラブ	国際奉仕委員会	平和資金予備費	合計
5,376,506	300,000	323,494	6,000,000

2022年3月31日 東奥日報掲載広告

ウクライナ支援募金
きょうも青森で活動

青森ロータリー

国際ロータリー第2830地区青森ロータリークラブ（竹内通昭会長）は12日、青森市のサンロード青森で、「ウクライナ人道危機救援金活動」を行い、訪れ

た市民に協力を呼び掛けた。13日（正午から午後2時）まで同所で行う。

同所の東口、西口、南口の計3カ所で、募金活動を実施。同クラブのメンバー25人の呼び掛けに、親子連れなど大勢の市民が協力する様子が見られた。

この日集まったのは19万3397円。募金は国際ロータリー（ロータリークラブの連合体）を通じ、ウクライナ本国や多数の避難民



ウクライナ人道危機救援金活動に協力する子どもたち
12日午後1時20分ごろ、青森市のサンロード青森

が身を寄せる隣国ポーランドに送り、緊急の食料品や医薬品に充てられる。

同クラブの竹内会長は「『食料が足りない』という情報が各地から寄せられている。一人でも多くの命を救うため、皆さんの思い

を寄せていただきたい」と話した。（工藤貴光）

青森ロータリークラブ
3月12日

2022年3月13日
東奥日報掲載記事

むつロータリークラブ 3月26日 (むつグランドホテル)



八戸北ロータリークラブ



地域コミュニティと連携する蕪島海岸清掃活動の取り組み

八戸南ロータリークラブ

社会奉仕委員長 橋 本 修

風光明媚な蕪島は昔から多くの市民に愛される観光地で、今年3月には国の天然記念物「蕪島ウミネコ繁殖地」の指定（大正11年）より100周年を迎えました。

八戸南ロータリークラブでは、社会奉仕活動として、蕪島海岸清掃活動を毎年おこなっており、八戸高校インターアクトクラブを指導する青少年奉仕活動と連動した活動となっています。

蕪島は当クラブにとって忘れられない場所です。

2011年3月11日の東日本大震災で被災した蕪島海浜公園駐車場の多目的トイレを建設するため、当クラブが中心となって、国際ロータリー財団、国内外のロータリークラブの協力を得て2012年竣工し、八戸市へ寄贈いたしました。

また、昨年9月には震災復興10周年を記念して、蕪島神社の野澤俊雄宮司（当クラブ会員）の御協力を得て、八重桜3本（御衣黄、関山、天の川）を寄贈植樹しました。本年4月には御衣黄という珍しい黄色い桜も見事に花を咲かせ、観光客の目を楽しませています。

地域のコミュニティと連携した清掃活動は、ロータリークラブの活動を知ってもらう良い機会になり、賛同者、理解者を増やすことに繋がっております。



Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2022年6月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

ロータリーの魅力とは

私たちがロータリーに入会し、会員であり続けるのは、ロータリーに対して何らかの魅力を感じているからでしょう。ロータリーに魅力がなければ、入会もしませんし、会員であり続けることはできません。その魅力をどうとらえるかはロータリアン一人ひとりにより異なるかもしれません。

私はロータリーの魅力について問い直すにあたり、あらためてロータリーの本質を正しく再認識することが欠かせないと考えます。ロータリーのCore Values(中核的価値観)にこそロータリーの本質があると理解します。

1. Service: 人のために良心をもって行う行為・行動すべてであり、ロータリーでは社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕と分類されます。ロータリーならではの奉仕の理想や超我の奉仕をさせていただくことに魅力を感じます。
2. Fellowship: 奉仕の理念に集う私たちロータリアンはいわば同志であり、志を同じくする仲間であります。その仲間を大切に思う心を育て、ともにロータリーの目的に向かう原動力となるロータリーならではの親睦に魅力を感じます。
3. Leadership: 世界中の多種多様なリーダーの集まりの中で、相互に啓発されて、そのリーダーシップを学び磨きあうことのできる例会や研修などの多種多様なプログラムを備えるロータリーのメンバーであることに魅力を感じます。
4. Integrity: 人としての在り方としての大切な芯となる、誠実・真摯・信念・品位・法令順守など高潔性に大きな価値を置き、自分磨きができるロータリアンとしての自覚と誇りが持てることに対して魅力を感じます。
5. Diversity: 国・民族・宗教・言語・人種・性別・職業・年齢などの多様性を受け入れて認め合うだけでなく、Equity(公平) Inclusion(包摂性)の概念をとりいれて、誰一人として取り残すことのない世界をともに目指すことに魅力を感じます。

これら5つの中核的価値観をもとに、「私たちロータリアンはお互いに手を取り合って行動に移すことで、国際社会や地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出す世界を目指す」(ロータリーのビジョン声明)に対して大きな魅力を感じます。ロータリーはまさに、人としてのより良き生き方を学び成長することができる道場であり、世界平和をめざす実践哲学でもあります。このようなロータリーとの出会いに感謝してあらためてロータリーを学び、実践し、発信し、ロータリーを楽しみたいと思います。今まさに、ロータリーの魅力を再認識したうえで、時代の変化に適應した会員維持と会員増強が望まれます。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成(あすかRC)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2022年6月号 No.2
NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

2021-22年度もあと1カ月

2020年1月15日に日本で最初のCOVID-19感染者が確認されて2年5ヶ月が過ぎましたが、未だ多くの感染者が確認されています。この間、ロータリー活動も制限され、例会やロータリーの会合の多くが、ZOOMを使ったオンラインでの会合やオンラインとインパースンを合わせたハイブリッド会合となりました。

そして、北京冬季オリンピックが閉会した4日後の2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻するという予想もしない出来事が起こりました。ロータリーの究極の目的が「世界平和」であることを考えると、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを願ってやみません。国際ロータリーは、早速2月25日にウクライナ情勢に対する声明を發出し、ロータリー財団はウクライナから避難する人々への人道支援のためにロータリー災害救援基金を募り人道的救援活動に活用していきます。そして、その額は1,450万ドル(5月12日更新)となっています。ロータリアンの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、2021-22年度もあと残すところわずかとなりました。この時期になると、年度初期に決めたロータリー財団の目標の達成の可否が気になります。特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」は毎年地区ロータリー財団委員長を悩ませる懸案事項です。幸い去年は皆様のご努力で日本の第1地域から第3地域のすべてのクラブが寄付をいただき「年次基金ゼロクラブゼロ」を達成しました。ご存知のように年次基金への寄付は3年後の地区の地区補助金の財源となる貴重な資金です。この財源を利用して各地区の多くのクラブがプロジェクトを企画立案し、戦略計画に基づいてクラブの活性化を図ることが出来ます。皆様がロータリー財団の年度目標について、今一度ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

毎年日本のロータリー財団の目標はRRFCが策定することになっています。毎年国際ロータリー日本事務局財団室からの財団室NEWS 4月号に掲載されます。今年も次年度R財団目標が掲載されました。年次基金への寄付額目標は150ドル/ロータリアンですが、実はこの財団目標がクラブのレベルまで周知されていないことが、往々にしてあるのです。地区財団委員長の皆様には是非クラブレベルでの周知にご協力をお願いしたいと思います。

次年度はこれを踏まえ、地区財団委員長とロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)、ロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)との合同会議を企画したいと思います。

第3地域の11地区では4月現在昨年同月比で8地区の寄付が昨年を上回りました。多くのご理解をいただき、コロナ禍の中にも関わらずご支援いただいたことに感謝申し上げ更なるご理解をお願いいたします。

第3地域 RRFC 永田 壮一(熊本城東RC)



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol. 266

2022年5月13日
発行

1. 米山梅吉翁の合同墓参

関東にある4学友会会長と学友が4月23日、米山梅吉翁の墓参のため、横浜市鶴見区の総持寺を訪れました。

この合同墓参は2018年に第2580地区（東京都・沖縄県）と第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）が始めたもので、その後、コロナ禍のため中断。今年再開するにあたって近隣地区にも声を掛け、上記2学友会の会長・学友・奨学生に加えて、第2750地区（東京都）・第2780地区（横浜市・川崎市を除く神奈川県）の各学友会会長、第2590地区米山委員2人の計15人が参加し、墓所の清掃と供花、総持寺内の見学をしました。

今回は初めて4学友会の会長が揃って梅吉翁の墓参をしたということで、それ

ぞれがこの奨学事業の始まりに思いをはせ、今後の学友会を活発にしたいという気持ちを新たにしました。



2. 寄付金速報 —ほぼ前年同期比並みで推移—

4月までの寄付金は前年同期と比べて0.3%減（普通寄付金:0.9%減、特別寄付金:0.1%増）、約300万円の減少となりました。ほぼ前年度と同様の水準で推移しています。今年度もあと残り1カ月半です。なかなかコロナ禍以前のよう

に寄付が大きく増額に転じることはありませんが、クラブの例会や地区大会も開催され始め、いったん止まったロータリー活動も再稼働しつつあります。引き続き今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

3. 博士号取得状況

2021-22学年度に博士号を取得した奨学生・学友は60人、これまでの累計は3,915人となりました（5月9日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約2週間かかります

申請方法

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281 / email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

時計が
リニ
ュー
アル

文字盤の裏に氏名を刻印

4. 米山がオンラインでつなぐ日本とミャンマー

東京米山ロータリーEクラブ 2750 の活動の一つに「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金で、ミャンマーの若者へ教育支援をするもの。毎年行われる現地での面接選考は、ミャンマー米山学友会が協力しています。

4月17日、今年の田中作次奨学生たちとミャンマー米山学友会有志、そして日本のロータリアンや現役米山奨学生が交流する「ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生 日本語 CAFÉ」が Zoom で開催され、総勢 50 人が参加しました。進行は日本語とビルマ語で行い、日本語運用レベル別に 5 グループに分かれ、「日本語を学ぶ理由」などのテーマを決めて交流しました。

主催した東京米山ロータリーEクラブ 2750 の肖慧潔会長（東京白金RC）は、「ミャンマー在住の田中作次奨学生にとって、奨学金という金銭的支援だけでなく、実際に日本人や日本で学ぶ留学生と交流することが何よりも大き



な励みになったと思います。私たちのクラブには外国語学習・指導経験のある会員が多く、会員の職業奉仕にもつながりました」と、活動の意義を述べました。

今回の日本語 CAFÉ は今後も継続的に開催したいとしており、併せて同クラブで開発中の「非漢字圏の日本語学習者のための生活支援漢字アプリ」によって、一人でも多くの日本語学習者への支援を進めていくとのことです。

5. 大牟田から巣立った日台の懸け橋

1998年から1年間、大牟田RCの米山奨学生だった林郁慧さんは現在、台北駐日経済文化代表処（台湾の日本における外交の窓口機関）で政務部次長を務めています。当時はカウンセラーの圓佛洋右氏と家族ぐるみで交流し、地元のお祭りやイベントに連れ出してもらったのが良い思い出と話します。また、優しく温かい大牟田RCの方々に迎えられ、異国にひとりやってきた寂しさも乗り越えることができたそうです。



カウンセラーの圓佛洋右氏（右）と林郁慧さん

＜林郁慧さんより＞

大牟田RCでは、さまざまな分野の最前線で活躍されている方々から貴重なお話を聞くことができ、特に社会人としての振る舞いや話し方を学ぶことができました。ここでの経験は人生に対する理解や考え方などをとても豊かにしてくれました。

九州大学卒業後、台湾外交部の試験に合格し、台湾と日本の懸け橋になるという当時の目標を叶えました。私はロータリアンに感謝するとともに、今後も米山学友として社会に恩返しして、両国の友好関係をさらに一層促進できるように努力をしていきます。

台湾と日本の懸け橋を目指す米山の後輩たちには、ロータリーの世界で大切にされている「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」という言葉を胸に頑張ってもらいたい。米山奨学生や学友の皆さん、世界平和のために各分野で一緒に努力していきましょう！



お知らせ

【ウクライナ危機へのロータリーの対応】

ロータリーは、ウクライナでの戦争による人命の喪失および人道的危機の深刻化を深く懸念しています。私たちは地域に根づいたネットワークと数十年にわたる経験を生かし、現地で迅速に行動を起こしています。

2022年3月3日から4月30日までにロータリー災害救援基金に寄せられたすべてのご寄付は、ウクライナ難民またはこの戦争の被災者支援が行われている地域への人道的救援活動に優先して活用されています。

世界中の方々からの温かいご支援のおかげで、1,500万ドル以上の寄付が集まり、水や食糧、シェルター、医療物資、衣服といった必需品のために既にこの資金が活用されています。

現在までに、この戦争による被災者支援のために、90件の災害救援補助金(総額240万ドル)が授与されています。ロータリー財団は引き続き、この寄付をウクライナとその周辺地域での人道的救援活動に活用していきます。

ウクライナ危機へのロータリーの対応



My ROTARY RIレポート

寄付送金明細書

寄付・認証の手引き

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響についての最新情報は[こちら](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

	2022年5月23日現在	
アメリカ	\$	189,761,207
韓国	\$	24,596,108
日本	\$	16,743,622

2021-22年度

目標(世界)

- 年次基金:1億2,500万ドル
- ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ドイツ財団からの上乘せ含む)
- 恒久基金:9,500万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- その他の現金寄付:4,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- 全体(上記合計):4億1,000万ドル

目標(日本)

- 年次基金:一人当たり150ドル
- ポリオプラス:一人当たり30ドル
- 恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- 大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- 各地区がDDFを使い切る
- グローバル補助金・地区補助金の活用促進
- ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数	236
AKS会員数	53
PHS会員数	1195

【祖国で人びとを助けるウクライナのクラブ】

自らも戦争の被害を受けているウクライナのロータリー会員たちは、避難先から戻ってきた市民を支援するために、海外からの支援物資の配布と長期的な救援活動に取り組んでいます。

2月下旬にロシア軍が侵攻して以来、ウクライナのロータリー会員は定期的にビデオ会議を開いて対策にあたってきました。ウクライナのロータリー雑誌『Rotariets』の編集者であるミコラ・スタビリャンコさん(ウクライナ・ロータリーEクラブ会員)によると、同国の会員の活動は、民間の負傷者が手当てを受けている病院に薬と電力を供給すること、避難している家族のシェルターを見つけること、次々と送られてくる支援物資を管理することを中心としています。続きは[こちら](#)

【平和の祈りを込めたコンサート】

エレナ・ボンダレンコ氏(平石)の記事がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

広島家族がロータリーを通じてウクライナを支援

私は、ウクライナ東部のドニプロという都市で育ちました。父はウクライナ人、母はロシア人です。留学のため21歳で来日し、広島市内の会社に勤めました。広島西南ロータリークラブ会員である夫・雅史と出会って、今では10代の息子3人を育てています。夫を通じてロータリーについて知り、7年ほど前にベトナムに赴いてロータリーの孤児院支援活動にも参加しました。

2年前から、末の息子のバイオリン留学のためドイツに住んでいます。ウクライナでの恐ろしい戦争が勃発したのは、2月下旬に日本に一時帰国していたときです。ウクライナの親せきや親友たちのことを考えると心配でたまりませんでした。キーウやドニプロだけでなく、マリウポリとドネツクから脱出できずにいる知り合いもいます。

・・・私は以前から、広島で親子のための室内楽コンサートを時々催していましたが、今回は急遽、ウクライナ支援のためのチャリティコンサートとし、バイオリニストの息子と、その友人であるピアニストの岡野純大さんが演奏することになりました。馴染みのあるクラシック音楽の曲を披露し、これまでの収益はロータリークラブを通じてウクライナ支援のために寄付しました。記事は[こちら](#)

【ウクライナ難民支援：欧州のローターアクトクラブが力を結集】

2022年2月下旬、ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、イーナ・ブシュミナさんは数時間のうちに、キーフの自宅から逃げ出しました。姉と生後3カ月の甥とともにオーストリアのウィーンに向かい、途中、ロータリー会員の家に身を寄せました。Kyiv Cityローターアクトクラブの会員で、ウクライナの地区ローターアクト代表を務めるブシュミナさんは、支援を受けたことをきっかけに、より大規模な救援活動を行うことを決意しました。現在、彼女が作成したオンライン・プラットフォームを通じて、数千人のウクライナ難民のためのシェルターを見つけることができるようになっています。

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)
[ロータリーボイス](#)
[組織規定](#)
[管理委員会の決定](#)
[ロータリーのプライバシーの方針](#)
[EU一般データ保護規則\(GDPR\)について](#)

<資料>

[財務報告](#)
[年次報告\(オンライン版\)](#)
[携帯用カード](#)
[ロータリー財団参照ガイド](#)
[地区ロータリー財団委員会要覧](#)
[地区ロータリー財団セミナーの手引](#)
 (zip)
 <各種レポート>
[My ROTARY](#) にログインをすると、
[「各種レポート」](#)から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

欧州各地で、ロータリー会員がデジタルツールを使って情報を共有し、ウクライナの戦争で被災した人びとを支援するために連携しています。世界40カ国以上のクラブが加盟する欧州のロータリー多地区合同情報組織(通称「[Rotaract Europe](#)」)を通じてグローバルネットワークを活用し、被災地のニーズに合った支援を行ってきました。

記事の続きは[こちら](#)

【奉仕を通じた学び】

2021年インターアクト賞(エッセイ部門)受賞作品: イサベル・オー、メスタ・スマナスカラ氏(オーストラリア、Balwyn高校インターアクト委員会)の作品がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

フリダース通りを歩くと必ず聞こえてくる「チャリン」という硬貨の音。フッと息を吸い込んでから私も「チャリン」と硬貨を容器に入れたが、駅に入るやその音は電車にかき消された。最後にちらりと振り返ると、その男性の希望をたたえた目がこちらを見て、都会の喧騒の中でやさしく「ありがとう」と口が動くのが見えた。街を歩き交う人たちは皆、自分のことに没頭して、道端の(ホームレスの人たちが持つ)「Help」(助けてください)と書かれた紙や毛布には気づいていない。大勢の目があるにもかかわらず、そのすべてがスマホにくぎ付けで、地面に座っている人たちからあからさまに目を遠ざけているかのようだ。記事の続きは[こちら](#)

【広島から世界に目を向けて～ここで自分たちにできることを】

ロータリーボイスに田中 朋博氏(広島西南ロータリークラブ会員、国際ロータリー第2710地区公共イメージ委員長)の記事が掲載されました。

下記はその抜粋です。

マツダ スタジアムで実現した「ロータリー奉仕デー」

国際ロータリー第2710地区では、広島県と山口県の72のロータリークラブがそれぞれの地域ならではの奉仕活動を行っています。

コロナ禍で迎えた3年目の春、2022年4月28日に、初めての地区内クラブ合同奉仕事業となる『国際ロータリー第2710地区 ロータリー奉仕デー in マツダ スタジアム』を実施。広島東洋カープの主催試合にあわせて、マツダスタジアム、広島駅とマツダスタジアムをつなぐカープロードなど計7カ所で募金を呼びかけ、スタジアムの入場ゲートなどで資料配布やロータリークラブの公共イメージ調査を行いました。

今回の事業は、国際ロータリーが長年にわたって続けているポリオ(小児まひ)根絶のための活動(エンドポリオキャンペーン)と、ロシア軍の侵攻を受けるウクライナにおいて被害を受けた方々への支援を目的として行われました。記事の続きは[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

ロータリー賞

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

【「女児のエンパワメント推進者」のロータリー会員を表彰】

2022年3月、ニューヨークで開催された、UNICEF(国連児童基金)とのロータリーデーにおいて、6名のロータリー会員が「People of Action: Champions of Girls' Empowerment」(世界を変える行動人:女児のエンパワメント推進者)として表彰されました。この表彰は、教育、保健、衛生に関するリソースを女児に提供し、女児が活躍できる環境を整えるための貢献を評価したものです。女児のエンパワメントは、シェカール・メータRI会長が掲げるイニシアチブの一つであり、今年度の奉仕プロジェクトの焦点とすることをクラブと地区に呼びかけています。記事の続きは[こちら](#)

【2022年ロータリー国際大会のライブ配信】

国際大会に足を運ばない方も、バーチャル形式でご参加いただけます。5月11日午前0時から8月31日(シカゴ時間)までは、75ドルとなります。

[ロータリー国際大会 バーチャルプログラム](#)

ポリオプラス

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2022年 1月1日～ 5月24日	2021	2020	2019
常在国	パキスタン	3	1	84	147
	アフガニスタン	1	4	56	29
非常 常在国	モザンビーク	1	0	0	0
	マラウイ	0	1	0	0
世界合計		5	6	140	176



ロータリー平和センター

【ロータリー平和フェローの推薦】

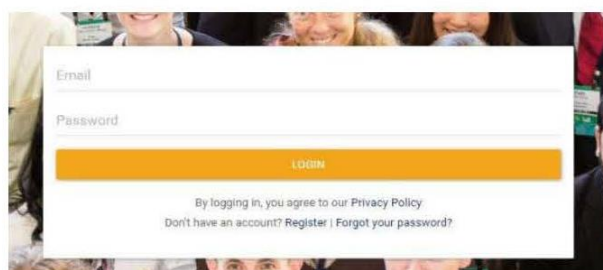
地区を指定した候補者がいる場合は、6月初旬にロータリー平和フェローシップ委員長や推薦に関する研修を終えた委員に情報が送られます。地区が面接を経て推薦書を提出する締め切りは7月1日です。もし、候補者の情報を受け取った地区で対応できない場合は、すぐにお知らせください。推薦しない場合でも、面接とその所見の記入は必須となります。

《オンライン推薦フォームへのアクセス》

- [推薦のオンラインフォーム](#)は、候補者のものとは異なりますので、ご注意ください。
- 登録に使うメールは My ROTARY と同じものを利用してください。
- 初回はパスワードの設定が必要です。Forgot Password をクリックして、メールを受け取り(迷惑メールボックスもご確認ください)、設定すると開けるようになります。昨年度利用されていた方は、同じパスワードをそのまま使うこともできます。

インターネット接続時のブラウザは、Google Chromeが推奨です。

推薦フォームが開けない、または設定のためのメールが届かない場合は、お知らせ下さい。



【七つの平和センター】

世界各地にあるロータリー平和センターは、平和構築と紛争解決に貢献する人材を育成するため、それぞれ独自のカリキュラムを提供しています

リタ・ロピディアさんは、ロータリー平和フェローとしてブラッドフォード大学(英国)に留学したときのことを鮮明に覚えています。「アフリカの政治と国連平和維持の授業が一番好きでした」とロピディアさん。「政治学の授業では、アフリカ大陸の歴史をより深く理解するために研究を重ね、平和維持の授業では、グローバルな政治について理解を深めることができました。世界中で起きている出来事をグローバルな視点で見ることができるのは、目からウロコの体験でした」

記事の続きは[こちら](#)

寄付・認証

【年次基金寄付ゼロクラブ】

新型コロナウイルス感染拡大により、クラブの取り組みや会員の皆様の生活へ大きな影響がある中でも、ロータリーを支えるための寄付をお寄せいただき誠にありがとうございます。クラブ会員のお一人でも年次基金へご寄付をいただければ年次基金寄付ゼロクラブではなくなります。

今年度も残りわずかとなりますが、年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標達成に向け、ご協力をお願いいたします。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2022年5月23日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	0	2620	2	2740	5
2510	1	2630	1	2750	4
2520	5	2640	9	2760	0
2530	3	2650	0	2770	0
2540	2	2660	0	2780	5
2550	2	2670	0	2790	1
2560	1	2680	3	2800	2
2570	0	2690	0	2820	0
2580	0	2700	4	2830	2
2590	0	2710	2	2840	5
2600	0	2720	3	合計	69
2610	5	2730	2		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は、月次寄付レポートをご参照ください。※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

《My ROTARY にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→月次寄付レポート》

<補助金>

ロータリーの補助金

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

補助金による旅行

ロータリーの旅行禁止国リスト

グローバル補助金ガイド

地域社会調査の結果フォーム

地域調査の方法

協力団体の覚書(MOU)

ローターアクターによるロータリー補助金の利用 よくある質問

<重点分野>

重点分野の基本方針

重点分野別ガイド

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

モニタリングと評価の計画について

<プロジェクトのヒント>

プロジェクトの流れ(ライフサイクル)

ロータリーショーケース

プロジェクトフェア

補助金担当職員一覧

重点分野の担当職員

補助金レポートの利用方法

<オンライン申請>

補助金センター

補助金センターのご利用ガイド

補助金センターのご利用ガイドグローバル補助金奨学生

グローバル補助金奨学生

グローバル補助金申請のテンプレート

グローバル補助金報告書のテンプレート

グローバル補助金 計算表

<奨学金>

奨学金の提供

ロータリー平和フェローシップ

ロータリーの学友

グローバル補助金奨学生のテンプレート

<資格認定>

参加資格の認定

地区の覚書(MOU)

クラブの覚書(MOU)

クラブの覚書(MOU)の実施に関する指針

クラブの覚書(MOU)ワークシート

クラブの参加資格認定 よくある質問

【子どもたちの未来に夢を馳せる ～遺贈の選択～】

約四半世紀にわたり桐光学園インターアクトクラブの顧問をされている林直子先生より、この度、ロータリー財団への遺贈のお申し出をいただきました。インターアクトクラブ顧問として、なぜロータリーに寄付することを選択されたのか。その理由を林先生に伺いました。



林直子先生とインターアクトたち。

➤ 先生とロータリーとの最初の接点はどのようなものだったのでしょうか。

林：学校で、部活動の顧問としてインターアクトに携わるようになったのがきっかけです。それ以前は接点がありませんでした。顧問になってはじめて、ロータリーが素晴らしい活動をされていることを知りました。

➤ インターアクトの活動を通して感じたことや、特に印象深かった出来事があれば、お教えてください。

林：まず何より、第2590地区を中心としたロータリアンの皆様からいただいた数々のご薫陶や貴重な学びの機会が、すべて「宝もの」になっていることに、深く感謝しております。おかげさまで、人生が変わりました。

ロータリーの精神を象徴する出来事の一つとして、台湾へのインターアクト海外研修でのある経験をお話したいと思います。

台湾は、東日本大震災の時に世界で最も大きな支援をくださったので、そのことをよく承知して行くよう、事前に生徒たちへ伝えました。現地でロータリークラブの例会に出席させていただき、台湾在住の日本人女性の卓話を聴きました。その方は震災当日、大学の卒業旅行で台湾を訪れていましたが、ご実家が宮城で被災されたため、帰国できなくなってしまったそうです。そこで、今の自分にできることを考えて街頭で募金活動を始めたところ、たまたま通りかかったロータリアンが声をかけてくださったそうです。その方のオフィスへ招かれて事情をお話したところ、その後テレビ局にお連れくださり、テレビに出演させてもらえることになりました。その結果、ホームレスの方を含めて多くの方が寄付をくださったそうです。

日本のために台湾の皆さんがそこまでしてくださったと知って、生徒たちともども、とても感激しました。その女性は何か恩返しができないかと考え、その後台湾の会社に就職したとのことでした。

なお、そのロータリークラブの皆さんは、震災以来毎年来日して、東北でボランティア活動をしてくださっています。

記事の続きは[こちら](#)

※このインタビューは国際ロータリー第2590地区により、地区大会記念誌用に行われたものです(ブログ記事用に編集されています)。第2590地区のご協力に心より感謝いたします。

[インターアクトクラブについて](#)
[ロータリーへのご遺贈について](#)
[ロータリーの恒久基金](#)



【記念寄付、追悼寄付(メモリアルコントリビューション)】

誕生日や結婚記念日などを記念して、あるいは、家族や友人の追悼として、気持ちをご寄付という形にするのはいかがでしょうか。

記念寄付、追悼寄付(メモリアルコントリビューション)は、オンライン寄付の画面から寄付者ご本人様、または役職登録済みのクラブ会長、幹事、事務局の方などが、所属クラブまたはクラブ会員に代わってお手続きいただけます。ご希望に応じて、メッセージカードを送信・印刷することができます。

※銀行振込での記念寄付・追悼寄付は、各クラブからのご利用の状況を鑑み、2021-22年度をもちましてお取り扱いを終了させていただきます。

オンラインでのご寄付はこちら <https://my.rotary.org/ja/donate>

《寄付者本人の手続き》

オンライン寄付の画面より、寄付分類を選んだあとに「記念寄付または追悼寄付をしたい」にチェックを付けます。チェックを付けると、「追悼寄付／敬意を表した寄付」の画面が表示されます。追悼寄付(メモリアルコントリビューション)の場合には、「追悼を表したご寄付」を選択します。

続いて、記念寄付や追悼寄付をしたことを、他の方へ知らせるメッセージカードを作成することができます(任意)。

《メッセージカードでの通知方法》

- Eメール:相手側へメッセージカードのリンク先が記載されたメールが送られます。
- 自分で印刷:ご自身で印刷して、郵送や直接お渡しいただけます。

《代理寄付》

オンライン寄付の画面より、寄付分類の選択、記念寄付または追悼寄付の選択、メッセージカードの作成まで進んだら、「これはクラブまたは会員からの寄付です。」にチェックを付け、「ご寄付」から「これはクラブまたは会員からの寄付」を選択することにより、代理寄付となります。

《留意点》

- クレジットカードでの決済となります。
- 税制上の優遇措置を受けるには、手続き画面の中で「国:日本」「通貨:円」となっていることをご確認ください。
- 寄付分類は問いません。寄付者のご希望に沿ってお選びください。
- 最後に「寄付内容を確認する」ボタンから内容を最終確認できます。ボタンをクリック後にページが白くなりますが、ページ上部にスクロールすると確認画面が表示されますので、内容の確認をお願いいたします。
- 寄付後すぐにロータリーインターナショナルから送られてくる「ロータリー:支払い受理の確認のお知らせ」というタイトルのメールを保存しておいてください(ご寄付の確認番号が含まれています)

「寄付・認証の手引き」をご活用ください

財団室へよくお寄せいただく質問に対する回答をまとめ、基本的な点をカバーしている手引きです。

ぜひ地区内クラブの皆様にご活用ください!

[寄付・認証の手引きはこちら](#)

補助金

【ローターアクトによる補助金参加の新たな機会】

ローターアクトは、長年にわたり、地元をはじめとする幅広い地域社会で有意義な奉仕を行ってきました。7月から、[ローターアクトクラブは、ロータリー財団の補助金を申請できるようになり](#)、さらに大きな影響を世界にもたらすことができるようになります。ローターアクトと補助金に関する[よくある質問](#)をダウンロードし、詳細をご覧ください。

【授与と受諾の条件 更新】

「授与と受諾の条件」が更新され、[地区補助金用](#)と[グローバル補助金用](#)のそれぞれ別個の資料となりました。これにより混乱を緩和し、各補助金に関する特定の情報を見つけることができるようになります。

【2022-23年度 地区の参加資格認定】

2022-23年度のための、地区の参加資格認定はお済みですか？地区がロータリー財団の補助金を申請するには、まず参加資格の認定を受ける必要があります。認定手続きは毎年行う必要があります。**6月30日までに、必ずお手続きをお願いいたします。**

参考：My ROTARY「[参加資格の認定](#)」、財団室 NEWS2月号 p.8

➤ 手続きが必要な方

現ガバナー/ミニート、2022-23年度に新たに地区ロータリー財団委員長(DRFC)になる方々です。(任期継続または再任のため4年目となるDRFCも必須です。DRFC2年目、3年目または5年目、6年目の方は不要です)

➤ 手続き方法

[My ROTARY](#)の「補助金センター」からオンライン手続きです。

補助金センターを開いてから、画面右上「さらに表示」にカーソルを当てて、「地区の参加資格認定」からお進みください。



必ず6月30日までに
お手続きをお願いいたします！

【6月より大規模プログラム補助金が申請可能に】

2022-23年度大規模プログラム補助金の申請書が6月初旬に利用可能となり、申請を希望するクラブと地区は、8月1日までに、プロジェクトの期待される成果、パートナーシップ、目標をまとめたコンセプトノートを提出することとなります。大規模プログラム補助金は、すでに成功を収めたプロジェクトを拡大して実施するための資金を提供するものです。この補助金では毎年、ロータリー会員が経験豊かな協力団体と協力して実施する、成果が実証されている優れたプログラムに200万ドルが授与されます。

申請に関する詳細は[こちら](#)

2021-22年大規模プログラム補助金の受領者は、[ロータリー国際大会](#)にて発表されます。

【地区補助金 申請書】

2022-23年度のガバナー、地区財団委員長(DRFC)、地区補助金委員長はMy ROTARYの「補助金センター」より、2022-23年度地区補助金の申請書の作成・提出ができ、本年度の報告書を提出してなくても、申請書を提出することができます。

参照：「[補助金センターのご利用ガイド](#)」 p.28～

<入力のヒント>

- **使用計画タブ：**活動を追加する際に、「簡単な説明」欄にはそのプロジェクトの内容と、地区補助金資金をどのような経費に使うか、簡単な説明をご入力ください。地区補助金資金を使わない経費項目については、申請書に入力しないようお願いいたします。
- **銀行情報タブ：**口座名は、カタカナまたはローマ字でご入力ください。また、「支店ID」欄には、銀行コードと支店番号(つづけて入力して7桁)をご入力ください。
- **補足文書タブ：**通帳の表紙と、表紙裏ページ(口座名が記載されているページ)を、「補足文書」タブにアップロードしてください。

【地区補助金 報告書】

地区補助金の報告書では各プロジェクトへの配分額(実際の使用額)を入力します。地区から各プロジェクトへ資金の配分が終わってれば、実施が完了してなくても報告書への入力・提出が可能なので、入力を進めておくことをおすすめします。参考：「[補助金センターのご利用ガイド](#)」 p.32、財団室NEWS5月号 p.6

<報告書画面>

実際の使用
以下の各活動について、使用した金額を入力してください。資金を使用しなかった場合、空白にするか「0」と入力してください。

#	地区またはクラブ	活動またはプロジェクトの種類	活動の実施地	計画された使用額	実際の使用額
1		地域社会の発展(ボラン...	Japan(日本)	930	
2		食糧/農業(一般)	Japan(日本)	1,505	1505
3		地域社会の発展(ボラン...	Japan(日本)	564	
4		教育(一般)	Japan(日本)	1,806	

複数人同時には、報告書の入力できません。
複数人が同時に報告書を開いている場合、最初に開いた方のみ入力作業ができます。最初に開いた方が報告書画面を閉じるまで、他の方は入力できません。

ロータリー財団から地区へ、地区補助金が支払われた当時のRレートのにて、実際の使用額(円)をドル金額に計算して、ご入力ください。

途中まで入力して保存し、提出せずに一旦報告書画面を閉じることも可能です。

保存して閉じる 保存&提出 閉じる

画面を閉じる際には、「保存して閉じる」または「閉じる」から閉じてください。インターネットのウィンドウをそのまま閉じてしまうと、正常に閉じられない場合があります。

参考：[ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件](#) p.6

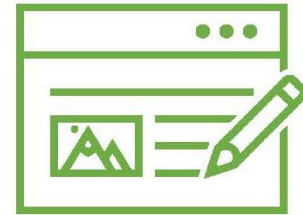
【グローバル補助金の報告】

報告書の提出期限は、支払から12か月以内または完了から2か月以内です。12か月でちょうど完了する場合などは、そこから報告書を作成すると期限が過ぎてしまいますので、早めに一度中間報告書をご提出ください。

奨学金の場合も、授業の開始ではなく支払日からの起算となります。出発前に経費を支払うために早めの申請、支払いを受けている方も多いため、留学期間が1年の方の場合は特に注意が必要です。

報告期限が学業の終了より前に来る場合も、奨学金を使い切っていれば早めに最終報告書を提出することができます。完了時まで支出の予定があり未使用の補助金(奨学金)があると予測される場合は、中間報告を学期の終わりなどに早めに一度提出するようにお願いします。

特に6月から8月頃に報告期限が来る奨学生が多いと思いますが、報告期限を過ぎてしまうと双方の提唱者の新たな申請を承認できません。受け入れクラブが、別の奨学生の受け入れ先として新たな補助金を申請中の場合、多大な迷惑をかけてしまうことになります。あと少しだからと放置することのないようにお願いいたします。



【グローバル補助金を受領する銀行口座の提出】

銀行口座情報が受理されるまで、補助金の申請書は承認されません。

グローバル補助金の提唱者は、補助金申請書を提出する際に銀行口座情報を提供する必要があります(以前は補助金の承認後でした)。

➤ 実施国側か援助国側のどちらか一方の代表連絡担当者のみが入力できます。提出済みの申請書を開くと、銀行口座のタブが右側の下に追加されています。

➤ 口座情報を正確にローマ字にてご入力ください。

➤ 銀行コードと支店番号は、合わせて7桁を入力します。

➤ 日本の口座の場合は、振り込みの際にフリガナが必要となります。口座情報入力画面下部の「銀行口座への入金を示す銀行明細書をアップロード」の部分に、通帳の口座名とフリガナが記載されているページのアップロードをお願いいたします。(拠出金を直接口座に入金した場合は、入金を示すページもお願いいたします)

➤ 口座と口座名について: 他の資金が混ざらない補助金専用口座をご利用ください。クラブが提唱するプロジェクトの補助金は、クラブが管理する銀行口座に支払われる必要があります。口座名義には、補助金を受領する提唱クラブ名を含めます。地区が提唱するプロジェクトの補助金は、地区が管理する銀行口座に支払われる必要があります。口座名義には、補助金を受領する提唱地区番号を含めるようにします。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2022年4月26日～5月16日 確認分(敬称略、寄付日順)

地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2550	足利東	中谷 研一	2650	京都	立木 貞昭
2500	富良野	松田 英郎	2670	高松北	渡辺 光夫
計 4 名					

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

【寄付記録、認証品について】

世界的な財務管理システムの移行にあたり、7月以降にいただいたご寄付について、各種レポートへの反映に不具合が生じております。ご不便ご迷惑をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。ご不明な点等ございましたらお知らせください。また、新型コロナウイルスの感染拡大と業務への影響により、ポール・ハリス・フェローやベネファクター等の認証品の発送に遅れが生じております。(順次お届けしております。)

皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございません。ご理解を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

- My ROTARY から閲覧できるレポート「ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート」にて地区内・クラブ内の認証者をご確認いただけます。レポート画面の左上に表示されている「Rotary Year(すべての値)」から、年度をお選びいただけます。
(参考「[寄付・認証の手引き](#)」 p.37～)
- 環境面への配慮から、ポール・ハリス・フェローの認証状に使用していたクリアフィルムを廃止することとなりました。ご理解のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

<視聴覚資料>

[ウェビナー\(オンライン研修\)](#)

[My ROTARY 写真&動画](#)

[重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

6月4～8日	ロータリー国際大会 (ヒューストン)
6月30日	グローバル補助金-奨学生申請書提出期限(10月までに留学を開始する場合)
7月1日	ロータリー平和フェローの地区の推薦書提出期限
7月1日 ～9月15日	ロータリー最優秀学友会賞 、 ロータリー学友世界奉仕賞
7月 ～10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞
11月 19日 20日 21～22日	第51回ロータリー研究会 財団地域セミナー メジャードナー午餐会 GETS・GNTS 他 ロータリー研究会

国際ロータリー日本事務局財団室

〒108-0073

東京都港区三田 1-4-28

三田国際ビル 24 階

Email: RLJPNTRF@rotary.org

Tel: 03-5439-5805

Fax: 03-5439-0405

ロータリー財団 2021-22年度 4月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,144	122.61	262,883.92	30,906.36	122,000.00		415,790.28	126%
2510	2,404	149.48	359,345.86	23,428.81	37,090.99		419,865.66	111%
2520	2,132	83.44	177,904.68	14,457.61	28,046.88	7,350.00	227,759.17	121%
2530	2,216	112.63	249,589.22	29,435.03	26,003.62	5,355.00	310,382.87	103%
2540	1,113	74.86	83,316.64	1,198.24	877.19		85,392.07	97%
2550	1,665	158.49	263,887.69	36,023.34	32,819.67	20,515.79	353,246.49	113%
2560	1,999	130.12	260,103.33	43,406.57	1,400.76	7,350.00	312,260.66	112%
2570	1,562	140.56	219,560.27	62,614.77	44,705.81	2,100.00	328,980.85	106%
2580	2,837	225.76	640,469.47	160,217.35	134,164.29	2,100.00	936,951.11	111%
2590	1,884	207.33	390,614.57	52,982.19	37,245.90	8,250.00	489,092.66	116%
2600	1,871	181.80	340,150.42	58,256.93	14,973.71		413,381.06	114%
2610	2,497	108.65	271,287.92	19,217.62	3,617.86		294,123.40	106%
2620	2,818	142.42	401,346.37	53,402.96	94,112.52	2,250.00	551,111.85	123%
2630	3,030	162.14	491,274.87	35,581.54	67,550.94	7,699.65	602,107.00	123%
2640	1,638	112.91	184,938.86	18,603.93	23,588.45	3,150.00	230,281.24	94%
2650	4,292	185.19	794,814.17	101,088.43	46,903.42	3,990.00	946,796.02	104%
2660	3,455	210.51	727,303.20	187,385.20	73,309.09	26,564.84	1,014,562.33	123%
2670	2,890	116.96	338,014.66	50,334.04	31,136.36		419,485.06	140%
2680	2,585	150.58	389,241.99	44,480.27	67,065.51	5,419.05	506,206.82	117%
2690	2,897	152.36	441,395.73	75,496.09	40,090.91	4,095.00	561,077.73	93%
2700	3,038	185.87	564,682.19	22,455.55	86.84	1,050.00	588,274.58	192%
2710	3,089	138.39	427,494.39	82,662.21	77,290.69		587,447.29	111%
2720	2,316	113.04	261,795.31	22,056.36	14,914.09		298,765.76	124%
2730	2,311	70.93	163,913.08	23,625.64	7,450.00	1,050.00	196,038.72	105%
2740	2,073	81.19	168,296.76	18,691.40	108,150.00		295,138.16	156%
2750	4,493	195.47	878,239.43	158,570.38	280,722.58	5,355.00	1,322,887.39	103%
2760	4,624	170.46	788,200.48	146,547.27	113,999.02	1,050.00	1,049,796.77	115%
2770	2,327	209.05	486,459.64	91,720.19	53,199.00		631,378.83	98%
2780	2,248	151.52	340,618.33	66,416.83	48,787.14		455,822.30	97%
2790	2,650	175.34	464,660.25	70,204.20	43,540.92	2,100.00	580,505.37	118%
2800	1,507	140.45	211,654.74	46,273.41	31,917.11		289,845.26	169%
2820	1,837	150.80	277,013.06	44,864.37	44,299.57	1,050.00	367,227.00	99%
2830	1,099	140.50	154,412.82	19,205.93	4,070.00		177,688.75	115%
2840	2,059	129.47	266,570.45	52,317.60	25,526.61		344,414.66	103%
日本	83,600	152.41	12,741,454.77	1,964,128.62	1,780,657.45	117,844.33	16,604,085.17	113%
世界	1,162,763	97.28	113,115,971.51	23,562,298.81	35,748,330.08	21,078,435.78	193,505,036.18	
日本の割合	7.19%	-	11.26%	8.34%	4.98%	0.56%	8.58%	

※2022年5月23日現在(訂正等により数字が更新される場合があります)

※ロータリー災害救援基金へのご寄付は、年次基金が対象となる各種認証や寄付データに算入されます。(ウクライナ支援のための寄付含む)

財団室NEWSへの個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

会員動向

《 2022年4月 》

【入会者】



大和 弘尚
(むつ)
4月5日入会



永瀬 正之
(十和田八甲)
4月1日入会



吉田 暁博
(弘前)
4月18日入会



宇都 正樹
(弘前)
4月18日入会



木村 一
(弘前)
4月18日入会



小畑 和仁
(青森)
4月7日入会



日下 稔
(青森)
4月7日入会



宮嶋 年宏
(青森)
4月7日入会



長内 琢己
(青森)
4月14日入会



沼畑 秀樹
(青森)
4月14日入会



塚田 義則
(青森モーニング)
4月19日入会



中里 政廣
(五戸)
4月1日入会

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
むつ	和田 好史	4月4日
弘前	原 徹	4月1日
弘前	松嶋 邦治	4月1日
弘前	青木 慎一郎	4月1日
弘前	尾崎 克己	4月1日

【ロータリー財団寄付】



田中 常浩
(むつ)
PHF+6



黒沢 悟
(むつ)
PHF+1



山口 聡
(青森)
PHF

【米山記念奨学会寄付】

<米山功労者>



中野渡 勝孝
(十和田東)
第1回

2022年4月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率%	正会員数								My Rotary 登録率%	
				前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計		
東第一グループ	むつ	3	80.00	53	1	1	53	2	52	2	1	28.30	
	むつ大畑R衛星												
	野辺地	4	100.00	14	0	0	14	2	14	0	0		100.00
	七戸	4	88.90	9	0	0	9	2	10	0	1		33.33
	東北	2	79.20	17	0	0	17	2	16	1	0		94.12
	むつ中央	4	70.00	24	0	0	24	0	23	1	0		12.50
	六ヶ所	4	48.00	32	1	1	32	0	30	3	1		28.13
6クラブ小計			149	2	2	149	8	145	7	3			
東第二グループ	三沢	4	54.35	25	0	0	25	1	24	1	0	36.00	
	十和田	4	50.00	37	0	0	37	8	34	3	0	27.03	
	十和田東	4	82.40	27	0	0	27	2	27	0	0	55.56	
	おいらせ	4	75.00	9	0	0	9	1	9	1	1	44.44	
	三沢東	4	78.55	36	0	0	36	5	36	0	0	33.33	
	十和田八甲	3	91.67	83	1	0	84	1	83	3	2	32.14	
	6クラブ小計			217	1	0	218	18	213	8	3		
西第一グループ	五所川原	4	49.28	52	0	0	52	6	54	0	2	76.92	
	金木	4	91.00	13	0	0	13	2	13	0	0	7.69	
	鱒ヶ沢	0		15	0	0	15	2	14	2	1	33.33	
	鶴田	3	45.80	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50	
	五所川原中央	4	50.00	30	0	0	30	2	29	2	1	36.67	
	つがる	3	66.60	32	0	0	32	0	31	1	0	25.00	
	五所川原イヴニング	2	37.00	29	0	0	29	7	30	2	3	44.83	
7クラブ小計			179	0	0	179	20	179	7	7			
西第二グループ	弘前	4	71.30	47	3	4	46	3	46	4	4	39.13	
	弘前東	3	61.90	22	0	0	22	6	9	15	2	22.73	
	弘前東桜華R衛星	0											
	板柳	2	100.00	12	0	0	12	0	12	1	1		33.33
	黒石	2	100.00	20	0	0	20	1	19	2	1		60.00
	大鰐	3	70.00	10	0	0	10	0	10	0	0		30.00
	弘前西	2	100.00	28	0	0	28	3	28	0	0		75.00
	平賀・尾上	1	45.50	11	0	0	11	0	11	0	0		27.27
弘前アップル	2	100.00	21	0	0	21	3	22	0	1	66.67		
8クラブ小計			171	3	4	170	16	157	22	9			
中グループ	青森	3	73.60	85	5	0	90	6	87	12	9	81.11	
	青森北東	2	76.20	22	0	0	22	3	24	0	2	72.73	
	青森中央	1	71.40	7	0	0	7	1	6	1	0	28.57	
	青森モーニング	2	64.00	23	1	0	24	3	21	4	1	45.83	
4クラブ小計			137	6	0	143	13	138	17	12			
南グループ	八戸	4	100.00	62	0	0	62	0	60	4	2	44.26	
	八戸東	4	100.00	46	0	0	46	0	50	2	6	63.04	
	三戸	4	100.00	9	0	0	9	0	9	0	0	100.00	
	五戸	3	80.30	11	1	0	12	0	11	1	0	58.33	
	南部	3	80.00	10	0	0	10	0	10	0	0	50.00	
	八戸北	4	74.60	39	0	0	39	9	38	2	1	48.72	
	八戸南	3	74.70	31	0	0	31	1	31	0	0	87.10	
	八戸中央	2	47.40	23	0	0	23	6	22	2	1	47.83	
	八戸西	3	38.00	36	0	0	36	21	35	6	5	38.89	
9クラブ小計			267	1	0	268	37	266	17	15			
合計			1,120	13	6	1,127	112	1,098	78	49	47.89		

期首会員数は2021年6月末会員数です

7月1日の会員数は1,109名です

4月末現在の入退会人数です

地区行事予定			
2022年6月 ローターリー親睦活動月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(水)		
2	(木)		
3	(金)		
4	(土)	国際ロータリー年次大会 ヒューストン大会(～8日)	アメリカ・ヒューストン
5	(日)		
6	(月)		
7	(火)		
8	(水)		
9	(木)		
10	(金)		
11	(土)	第3回諮問委員会	ホテル青森
12	(日)		
13	(月)		
14	(火)		
15	(水)		
16	(木)		
17	(金)		
18	(土)	弘前アップルRC創立10周年 地区リーダーセミナー・日本青少年交換研究会熊本会議(～19日)	フォルトーナ くまもと森都心プラザ ほか
19	(日)		
20	(月)		
21	(火)		
22	(水)		
23	(木)		
24	(金)		
25	(土)		
26	(日)		
27	(月)		
28	(火)		
29	(水)		
30	(木)		

地区行事予定

2022年7月

月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(金)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
2	(土)		
3	(日)		
4	(月)		
5	(火)		
6	(水)		
7	(木)		
8	(金)		
9	(土)		
10	(日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	AP日本橋
11	(月)		
12	(火)		
13	(水)		
14	(木)	ガバナー公式訪問 五所川原イヴニングRC	ホテルサンルート五所川原
15	(金)		
16	(土)		
17	(日)		
18	(月)	海の日	
19	(火)	ガバナー公式訪問 八戸北RC	八戸プラザホテル
20	(水)	ガバナー公式訪問 八戸RC	八戸グランドホテル
21	(木)	ガバナー公式訪問 青森RC	ホテル青森
22	(金)		
23	(土)	第1回財団セミナー	アスパム
24	(日)		
25	(月)	ガバナー公式訪問 東北RC	青森原燃テクノロジーセンター
26	(火)		
27	(水)	ガバナー公式訪問 おいらせRC	レストランカワヨグリーンロッヂ
28	(木)	ガバナー公式訪問 五所川原中央RC	ホテルサンルート五所川原
29	(金)		
30	(土)		
31	(日)		